

# Let's come together! Vol. 20

Afternoon Concert **ロマンティシズム溢れる世界にようこそ**

2022年3月6日(日) 小金井 宮地楽器ホール 大ホール (3階) JR中央線「武蔵小金井駅」南口駅前  
開場 14:00 開演 14:30



松本紘佳 (ヴァイオリン)  
Matsumoto Hiroka (Vn)



赤松林太郎 (ピアノ)  
Akamatsu Rintaro (Pf)



ドミトリー・フェイギン (チェロ)  
Dmitry Feygin (Vc)



金崎瑞希 (ピアノ連弾)  
Kanezaki Mizuki (Pf)

サン＝サーンス  
Camille Saint-Saëns

動物の謝肉祭 (連弾)

Le carnaval des animaux (Four handed performance)

サン＝サーンス  
Camille Saint-Saëns

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第1番

Sonata for Violin and Piano in D minor, Op. 75

メンデルスゾーン  
Felix Mendelssohn

ピアノ三重奏曲 第1番

Piano Trio No. 1 in D minor, Op. 49

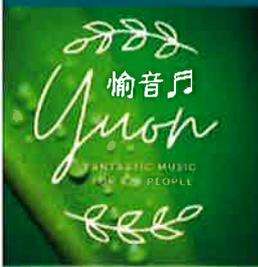
主催: 愉音 <https://www.yuon.net>

チケット: 一般 2,900円 学生 1,000円

販売: 愉音 [ticket.info.222@gmail.com](mailto:ticket.info.222@gmail.com) 090-6543-5456

小金井 宮地楽器ホール 2階事務室 042-380-8077

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 210713)





啓蟄。水ぬるむ春、生命と温かな色彩が目覚め始める3月6日、Let's come together! が小金井 宮地楽器ホールに初登場。鮮やかに音で織りなすサン＝サーンス作曲「動物の謝肉祭」(連弾)と春の嵐のようなヴァイオリンソナタ第1番、そしてピアノ三重奏曲の傑作に数えられるメンデルスゾーンのパiano三重奏曲第1番をLet's come together! で共演を重ねる卓越した音楽性を備える3人の演奏家+新進ピアニスト(連弾)が音楽の喜びとともにお届けします。ロマンティズム溢れる世界で音楽の魔法にかかってみませんか？

## 赤松 林太郎 Akamatsu Rintaro ピアノ

世界的音楽評論家ヨアヒム・カイザーにドイツ国営第2テレビにて「聡明かつ才能がある」と評され2000年のクララ・シューマン国際ピアノコンクール受賞。神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得(室内楽は全審査員満点による)、国際コンクールでの受賞は10以上。国内はもとよりアジアやヨーロッパでの公演も多く、2016年よりハンガリーのダヌビア・タレンツ国際音楽コンクールでは審査委員長を務め、ヨーロッパ各国で国際コンクールやマスタークラスを行う。キングインターナショナルよりアルバムを次々リリースする一方、エッセイや教則本も多数出版。現職は、洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学特任准教授、宇都宮短期大学客員教授、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会評議員・山手支部支部長、ブダペスト国際ピアノマスタークラス教授、カシオ計算機株式会社アンバサダー。http://rintaro-akamatsu.com/

## 松本 紘佳 Matsumoto Hiroka ヴァイオリン

第10回ヴィエニャフスキ・リピンスキ国際コンクール・ジュニア部門第2位、全日本学生音楽コンクール東京大会及び全国大会小学校の部第1位他受賞多数。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」他出演。ソリストとして、リスト室内管弦楽団、ハンガリー・ジェールフィル、ドイツ・イエナフィル、東京交響楽団他と共演。明治安田生命クオリティオブライフ文化財団助成(2年)を受けウィーンに留学。文化庁新進芸術家海外研修員(3年)としてウィーン市音楽芸術大学及び同大学院を最優秀の成績で卒業。原田幸一郎、ザハール・ブロン、ジェラルド・プーレ、ボリス・クシュニールに師事。現在演奏活動に加え、音楽が生物に与える影響に関心を持ち慶應義塾大学にて学ぶ。Instagram: @hirokamatumoto

## ドミトリー・フェイギン Dmitry Feygin チェロ

モスクワ音楽院中央付属音楽学校にて英才教育を受け、後にモスクワ音楽院へ入学、同大学院を卒業。その間、有名なチェリストであった父、ヴァレンティン・フェイギンにチェロを、室内楽をショスタコヴィッチ室内楽団のチェロ奏者アレクサンドル・カルチャーギンなどに師事する。モスクワ音楽院在学中、1991年にモスクワ院大ホールにて指揮者アレクサンドル・ヴェデルニコフ(現ボリショイ劇場常任)指揮により、チャイコフスキー作曲『ロココのテーマによる変奏曲』でデビューする。今までにショスタコヴィッチ室内楽コンクール、日本のチェロコンクールなど数々の賞を受賞。ショスタコヴィッチ室内楽コンクールではショスタコヴィッチ夫人から特別にソナタ賞を授与される。1986年からロシア国内外で演奏活動をはじめ、NEW-VIKTRINGフェスティバルやCARINTHISHERフェスティバル(奥)、カルマル・フェスティバル(仏、主催はロシア人ヴァイオリニスト、スピヴァコフ)、オレグ・カガン・フェスティバル(露、ナタリア・グッドマン主催)、モスクワ11月芸術祭などに出演する。'95年からはモスクワ・コンサート・フィルハーモニー協会のソリストを務め、モスクワ音楽院付属音楽学校で教える。'99年にはロシア人指揮者、イリヤ・ムーシンなどと共演する。'06年からはモスクワフィルハーモニア協会主催による定期演奏会に、毎年、チェロとピアノ、デュオ室内楽のシリーズに新見・フェイギン・浩子(ピアノ)と連続出演している。最近では、小林研一郎、広上淳一など世界的に有名な日本人指揮者などと日本のオーケストラとも共演する。さらに韓国やベトナムなどの有名なオーケストラとも共演する。現在、日本を始めロシア、韓国のコンクールの審査員や、さらに中国やアジアを中心に公開レッスンなども行う。ロシア、日本やアジアを中心にソロや室内楽で活躍している。2016年にシュベルトアルペジオネソナタ他 CDをリリース。2018年には、バッハ無伴奏チェロ組曲全曲CDをリリース、全曲演奏会を行った。2020年20世紀無伴奏チェロ曲集 コダーイ、レーガー、ヴァインベルクCD をリリース。現在東京音楽大学教授。

## 金崎 瑞希 Kanazaki Mizuki ピアノ

福岡県立東筑高等学校を経て、現在東京音楽大学ピアノ演奏家コース1年に給費奨学生として在学中。高校卒業時に公益財団法人東筑奨学会より功労賞受賞。第73回全日本学生音楽コンクール高校の部北九州大会第1位。第74回同大会第2位。第45回ピティナ・ピアノコンペティションプレ特級全国大会入選。第27回フツベル鳥栖ピアノコンクールフツベル部門第3位。「東京音楽大学ピアノ演奏会〜ピアノ演奏家コース成績優秀者による〜」や東京音楽大学表参道サロンコンサートVol.55、ベーゼンドルファー東京主催ランチタイムコンサート等の演奏会に出演。これまでに鈴木浩美、池川礼子、赤松林太郎、永野栄子、石井克典、仲田みずほの各氏に師事。

愉音は、SDGsとSTEAM教育の理念のもとに、バリアフリーで触れる参加型の音楽体験を提供し、生涯に渡る心身の健康や、地域におけるつながりの厚みを増すきっかけを作ることを目的とする団体です。

幅広い年齢層のメンバーが集い、様々な活動の企画運営を行っています。食べるもので身体ができていくように、音楽は心を育む大切な栄養の一つ、そして音楽は皆のもの。共に活動する仲間を募っています。

Instagram



Facebook



Twitter



Let's come together! 次回公演は、4月18日(月) やまと芸術文化ホール メインホール、演奏者は、梯 剛之、松本紘佳、ドミトリー・フェイギン。お楽しみに！